

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

祝

中国学生ソフトテニス王者

福山平成大学2年 福地美楽惟さん（喜如嘉）

インカレ出場を決める



令和8年度中国学生ソフトテニス大会

4月29日（水）から5月3日（日）にかけて島根県で開催された令和8年度中国学生ソフトテニス大会に、喜如嘉出身で現在、福山平成大学2年の福地美楽惟さんが出場し、見事、団体戦優勝、個人戦（ダブルス）優勝、シングルス3位という素晴らしい成績を収めました。

この大会は中国地方の頂点を決める大会であり、優勝した美楽惟さんは、全日本大学王座決定戦、インカレ、全日本学生選抜ソフトテニスインドア選手権への出場を決めました。

大会を終え、美楽惟さんは「王座やインカレ、全日本インドア出場を目標に頑張ってきたので、最後まで諦めずプレーしました。また、応援して下さる方々のためにも全力で頑張りました。団体戦でもダブルスでもチームに貢献できるよう、これからも頑張ります」と意気込みを語りました。

次大会でのさらなる活躍が期待されます。村民みんなで応援していきましょう！！

こども園での学びが1年生につながって こ小連携合同研修

5月13日（水）、大宜味小学校1年生教室において、こども園・小学校合同研修・情報交換会が行われました。

この研修会は、こども園と小学校の指導内容を相互に理解し、こども園から小学校への円滑な移行につなげることを目的としています。また、こども園と小学校の先生同士が情報交換を行い、幼児児童理解や指導法の理解を深め、日々の保育や授業実践に生かすことをねらいとして実施されています。年に数回開催され、互いのクラスの保育参観・授業参観を通して、子どもたちの様子を見ながら情報交換を行っています。

今回は、1年生の算数の授業を参観しました。単元は「1から10までの数え方」です。児童たちは数字のカードを使い、隣の友達とどちらが大きい数字を出せるか勝負したり、先生が鳴らすタンパリンの回数と同じ数のカードを出したりしながら、楽しんで数字を学んでいました。

授業中は席を立つ児童もおらず、できる子が友達に教える姿も見られるなど、落ち着いて学ぶ姿勢が育っていました。



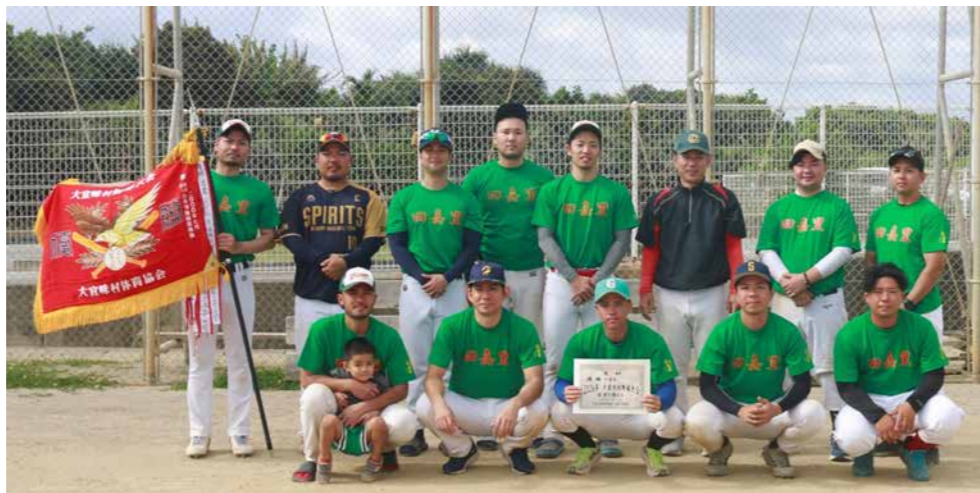
1年生は、ルールを守ることや、例を示すと集中して頑張ることなど、こども園で培ってきた力をしっかりと発揮していました。こども園の先生たちは、成長した子どもたちの姿に感動していました。



熱戦を制し、田嘉里チームが優勝 2026年大宜味村野球大会

5月17日（日）、大宜味小中学校グラウンドにおいて、2026年大宜味村野球大会が開催されました。

今年は、田嘉里チーム、謝名城・喜如嘉連合チーム、塩屋チーム、田港チーム、大保チームの5チームが出場しました。



第1試合では、田港チームに6点を先取された田嘉里チームでしたが、5回に逆転し、最終的に9対6で勝利を収めました。その後の試合も次々に勝利し、見事優勝に輝きました。

1日に3試合を消化し、頂点に立った田嘉里チーム、おめでとうございます！！

今大会では最優秀選手賞に知念伸さん（田嘉里）、敢闘賞に與那嶺康平さん（塩屋）、打撃賞に山城貞登さん（田嘉里）が表彰されました。

仲間を作ろう♪ 令和8年度わんぱく体験団 第1弾「FIFA わんぱくカップ 2026」

5月9日（土）、旧大宜味小学校体育館において、令和8年度わんぱく体験団①「FIFA わんぱくカップ 2026」が行われました。

今年度は4年生から6年生までの32名の団員が集結。久々の大所帯となり、事務局も嬉しい限りです。最初の活動の目的は「仲間を知ること」。ということで、毎年のことになりますが、体を動かして、みんなでわちゃわちゃ騒いで仲良くなっちゃおう！ わんぱくカップ、始まりま〜す♪



とはいえ、もしかしたら初めて話す相手もいるかもしれないので、まずは軽いレクで気持ちをほぐしていきます。次は班の名前決め。1年間呼ばれる班名、さてさて今年の名前は?? 「HAPPY チーム」「わんぱくチーム」「チームぶながやセブンイレブン」「ブラックポテチ」の4班です。しっかり考えて、今年もいい名前が出そろいました。

体も気持ちもほぐれてきたところで、いよいよわんぱくカップの始まり。最初の種目は、ソフトバレーボールです。



お次はドッジビー。ボールとは違い、投げ方も取り方もいつもとは違います。もちろん、よけ方も…。音もなく飛んでくるディスク（frisbee）。途中から2枚に増え、さらに盛り上がる団員たち。白熱した試合が繰り広げられました。午後5時5分、しぼり。速さだけでなく、それぞれの作戦が勝敗を分けます。じっくり作戦を練って…、突撃だ〜!! わんぱくカップと言いつつ、時間が足りなくて（他で盛り上がったからね）、肝心のサッカーはできませんでしたが、頭も体もめいりいっぱい使ったわんぱくたち。さてさて、気になる結果は?? 全ての種目で強かったブラックポテチの優勝!!! どの班も本当に頑張りました! いい仲間ができました。このメンバーで1年間、楽しく活動していこう!!



琉球舞踊の魅力体験する一日 琉球舞踊保存会普及啓発公演会

5月23日（土）、琉球舞踊保存会普及啓発公演会が大宜味村農村環境改善センターで開催されました。公演会に先立ち、旧大宜味小学校では小・中学生を対象としたワークショップ（舞踊、歌三線）、大宜味村役場2階会議室では一般（小学生以上）を対象とした琉球舞踊講座が行われました。

つどい室で行われた三線ワークショップでは、塩屋の仲村逸夫さんをはじめ、棚原健太さん、森田夏子さんが参加者に三線の持ち方、弦の押さえ方、工工四の読み方などを一つひとつ丁寧に教えました。初めて三線に触れる参加者もいましたが、明るく優しい先生方の手ほどきを受け、最後はみんなで「きらきら星」を歌いながら弾くことができました。

ワークショップを終えた参加者からは、「もっと弾きたい」「学校でも三線を教えてほしい」と元気な声があがりました。

体育館で行われた舞踊ワークショップ（講師：比嘉いずみ先生ら）には5名の子どもたちが参加しました。「大宜味讃歌」を踊ることを目標に、まずは歌を歌うことから始め、次に踊りの流れを教わりました。途中から民謡愛好会のメンバーも加わり、一つひとつの動きを確認しながら踊りを覚えました。最後はみんなで成果を発表し、わずか1時間で覚えたとは思えないほど息の合った踊りで、見ている人たちを楽しませました。

琉球舞踊講座では、鈴木耕太先生から琉球舞踊の歴史や演目の解説など、琉球舞踊について学びました。参加者からは「とても興味深かった」「面白かった」といった声があがりました。



午後には改善センターで、琉球舞踊保存会保持者、伝承者による古典舞踊、雑踊りが披露されました。村民をはじめ多くの方々が優雅な古典舞踊に見入るとともに、いきいきと踊る雑踊りでは手拍子を送りながら、演者と一緒に舞踊を楽しみました。見て、学んで、体験して琉球舞踊に魅了される1日となりました。



新ユニフォームで決意表明 結 Guts 平良さんにユニフォーム完成を報告

昨年、謝名城区の平良光明さんの畑で、資金造成を兼ねてシークワサー収穫を行った結 Guts（学童軟式野球部）のメンバーが、5月3日（日）、新調したユニフォームを着て平良さんを訪ね、ユニフォーム完成の報告とお礼をしました。

今年で結成11年目となる結 Guts は、これまで結成当初から使用していたユニフォームを、保護者が修繕しながら大切に使用してきましたが、平良さんの協力もあり、今回新しいユニフォームを作ることができました。

新しいユニフォームは、やんばるの山と海をイメージした青と黄緑色。後ろ側の首元にはシークワサーのイラストも描かれており、大宜味村を表現した一着となっています。

大宜味小6年で結 Guts キャプテンの宮城飛友磨さんは、「僕たちのために資金造成に協力してくれてありがとうございます。このユニフォームを着て優勝するので、応援よろしくお願いします」と、感謝の気持ちと優勝への熱い思いを伝えました。



平良さんは「ケガをしないように、これからも頑張ってください」と激励。結 Guts のメンバーからはダンスパフォーマンスでのお礼もあり、平良さんや、一緒にお礼に訪れた保護者、周囲の人たちを喜ばせました。

伊是名島でやんばる駅伝開催 大宜味村の選手が力走

5月16日（土）、伊是名村で第33回やんばる駅伝競走伊是名島大会が開催されました。

やんばる駅伝は、沖縄本島北部の市町村と周辺離島の町村が参加し、伊江島、伊是名島、伊平屋島、与論島の4島において隔年で開催されています。

今年は海が荒れていたため与論町が出場できませんでしたが、各市町村から15チームが出場しました。

今大会から熱中症対策として総距離を30キロに短縮し、「一般女子または60代男子」の区間も新設されるなど、新たな試みの中、島を回る9区間でやんばるの頂点を競いました。

大宜味村は大会への出場も危ぶまれる中でしたが、2区の知花百音さんが区間4位、6区のサバナ・ブラディさんが区間3位と大健闘。総合順位は14位となりましたが、一人一人が次につながる頼もしい走りを見せてくれました。

表彰式では、10年連続出走者として大宜味区出身の山城弘樹さんが表彰されました。やんばる駅伝は、18歳以上（県民大会の日までに18歳になっていれば可）の村民、または村に本籍がある方なら参加できます。駅伝や陸上に興味のある方は、大宜味村陸上部までご連絡ください。



山上晶子さん、沖縄県から8年表彰 大宜味村の教育委員として8年間尽力

4月30日（木）、アイム・ユニバースてだこホールにおいて、第71回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会が開催されました。

その中で行われた令和8年度沖縄県市町村教育委員会連合会功労者表彰において、大宜味村教育委員として8年間尽力された山上晶子さんが、8年表彰を受けました。

山上さんは、平成30年5月1日から令和8年4月30日までの8年間、大宜味村の教育に携わり、教育行政の推進にご尽力いただきました。

任期を終え、山上さんは「教育委員としての役目は終わったが、今後も大宜味村の教育に喜如嘉翔学校の一員として関わられるように頑張っていきたい」と話しました。

なお、令和8年5月からは、喜如嘉の吉濱千秋さんが教育委員として任命されています。



吉濱千秋さん（喜如嘉）

任期：令和8年5月1日から
令和12年4月30日

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第3回 教育委員会会議 令和8年4月16日（木）午後4時開催

《審議事項》

議案第17号 教育委員の辞職の同意について

《可決》

図書室情報 No.82 2026年（令和8年）6月

大宜味村図書室（旧議会棟）
大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

新着図書

- 『よみがえる琉球の紙 芭蕉紙 しゃかしかぼん』垣花千恵子 / 著・新星出版
- 『マンガでわかる「だまされない」お金の増やし方』鳥海翔 / 著・KADOKAWA
- 『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ / 著・日本経済新聞社
- 『カルト宗教信じてました。』たもさん / 著・彩図社
- 『デコピンのとくべつないちにち』大谷翔平 / 著・ポプラ社
- 紙芝居『キジムナーにあったサンラー』さえぐさひろこ / 著・童心社



寄贈図書 ありがとうございます

- 『ガーシュー先生一対馬丸事件を生きぬいた少女の物語』田島征彦 / 著・童心社
- 『戦争遺跡にみるやんばるの沖縄戦 増補改訂版』国頭地区文化財行政連絡協議会
- 『琉球文学大系8琉球歌謡宮古篇 下』名桜大学「琉球文学大系」編集刊行委員会

6月23日は慰霊の日です。
図書室内にて関連資料コーナーを設けています。
ぜひ足を運びご覧ください。

6月図書室カレンダー 閉室日：

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

- 5月の統計（5/20まで）
- 来室者数…のべ40人
- 貸出冊数…76冊
- 現在の蔵書数…9,982冊
- 利用状況累計（2019年9月～）●
- 来室者数…のべ5,034人
- 貸出冊数…8,029冊
- 登録者数…206人

地域とともにある学校を目指して 学推総会講演会開催

5月21日（木）、大宜味小学校多目的室において、令和8年度大宜味村学力向上推進委員会総会・講演会が行われました。

はじめに、宮城政信教育長が「大宜味村におけるコミュニティ・スクールの構想～地域とともにある学校へ～」と題して講演を行いました。講演では、コミュニティ・スクールとは何か、なぜ必要なのか、地域学校協働活動とは何か、また、コミュニティ・スクールとの一体的な推進や具体的な進め方、大宜味村ではどのように進めていくかについて、順を追って説明がありました。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民などが一定の権限と責任をもって学校運営に参加し、育てたい子ども像や目指すべき教育ビジョンを共有しながら、目標に向かって協働する仕組みをもつ学校のことです。

また、地域学校協働活動とは、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して行うさまざまな活動のことをいいます。政信教育長は、「子どもたちの学びや育ちをより充実させるために、自分事として考え、社会や地域が



総ぐるみで関わるのが大事」と話しました。

講演会後には、学校運営協議会委員予定者の紹介があり、コミュニティ・スクールの第一歩を踏み出しました。



大宜味村児童生徒等県外派遣に関する補助金交付事業について お知らせ

大宜味村教育委員会では、県外で開催される運動競技または文化活動における大会等へ、代表として参加する際の派遣に要する経費を補助します。

- （対象）①大宜味村立の小学校及び中学校に在籍する児童生徒
- ②大宜味村内に住所を有する高校生
- ③大宜味村内に居住する者の子及び被扶養者で大宜味中学校を卒業し高校の修学中のもの



（交付額）予算の範囲内において航空運賃に係る5割を交付する

（申請）大会等が開催される10日前までに教育委員会に提出をお願いします。

《令和7年度実績》

- ①派遣人数（22名） ②助成額（354,145円） ③大会数（全国：2大会、九州：6大会）

【お問合せ先】 大宜味村教育委員会（担当：島袋）TEL0980-44-3006





政信教育長のあじま～コラム

「躰（しつけ）」

国語辞典によれば、「しつけ」とは「礼儀・作法を仕込むこと」とあります。また漢字では「躰」と書き、その字の意味からは美しい身だしなみを指していることがわかります。

私たちは集団で生きているので、他人との関係でどうしても身に付けなければならないことや、やってはいけないことがあります。そのことをしっかり教え、身に付けさせることが「しつけ」の基本だと思います。

私たちが社会生活を営む上で身に付けなければならない礼儀・作法は実にたくさんあります。例えば「あいさつをする」などは、人間関係をよくする、社会に適応するためのものです。また、「早寝・早起きをする」などは自分の健康を増進するもの、「交通ルールを守る」は危険を回避する能力を身に付けるもの、「他人がいやがることはしない」は円滑な友達関係を作るものなどです。幼児期の躰には、昔から「子は親の背中を見て育つ」と言われているように、周りの大人がしっかり正しい見本を見せることが必要です。正しい見本を示し、習慣化するまでできたことを認め、ほめながら徹底して教えていくことが大切だと思います。

小中学校では、教育の目標にあるように、学校は、子供たちが社会で生きていくための基本的な価値観や倫理観を育む場所で、教育理念として「豊かな人格の形成」が掲げられており、思いやりや自立心を持つことが求められます。これにより子供たちは他者との関係を築く力を身に付けます。

そのためには、自分と価値観のより多くの人と関わる経験が必要です。今年度から準備を進めている学校と地域が連携して取り組む活動の地域学校協働活動において実現を図っていきたいと考えています。一人一人が関わりの中で、相手の立場になって考える力や行動のし方を身に付けることで、よりよい社会形成の一員として、豊かな人生を切り開くことにつながるのではないのでしょうか。


今月の生きもの

コンロンカ：アカネ科



こんにちは。私、コンロンカです。林道沿いでちょっと目立つ私の姿。白い花が咲いているように見えるけれど、実は白い部分は萼片（がくへん）の一つが花弁のようになったもの。この白い大きな萼片を中国西方の高山の崑崙（こんろん）山脈の根雪に見立てたところから、和名がつけられたと言われています。真ん中にある黄色い星みtainなものが本当の花。これもまた可愛いでしょ♪梅雨のやんばるを少しだけ映えさせる、そんな私を探してみてね。

6月の行事予定

| | | |
|----------------------------|------------------------------------|---|
| 1日（月）区長会（中）振替休日 | 20日（土）第124回国頭地区ミニバスケット交歓会 ～21日、27日 | |
| 6日（土）国頭地区夏季総合体育大会 | 23日（火）沖縄慰霊の日 | |
| 7日（日）（小中）授業参観 （小）親子ふれあい | 24日（水）（園）避難訓練（火災・消火） | 6月17日 |
| 8日（月）（小中）振替休日 | 25日（木）定例教育委員会会議 |  |
| 12日（金）（園）保育参観日 | 26日（金）（園）お弁当会（4・5歳児） | おまわりさんの日 |
| 19日（金）村ゴルフ大会 | 27日（土）わんぱく② | |